

第1回越前おおの型食・農業・農村ビジョン推進委員会及び大野市食育推進会議
議事概要

令和7年8月28日（木）午後2時～3時40分
結とびあ201号室

出席者 推進委員10名（欠席 1名）
事務局 3名

○委員長空席に伴う選任

委員長 佐野昌典 氏

○委員長あいさつ

- ・米の価格が上昇しているなか、大野市は特に特産品を多く抱えており、また農作物も特産品の一つであることから、今後の維持が課題である。
- ・国の生産調整が不透明の中で、米の増産に取り組む方もおられる。併せて園芸品目の増産、維持も重要であると考えます。

1 報告

(1) ビジョンの取組状況について

事務局より資料P3～5について説明。

【質疑】

委員 里芋の作付について、R7年はR6年よりさらに下がると思われる。現状では目標達成は難しいのではないかと。また、特別栽培の面積も10%ほど増やす必要があるが、どのような支援を行っているか。米の価格の上昇によりさらに里芋の作付は減るのではないかと。

事務局 里芋生産への支援として、栽培に使用する生分解性マルチの購入支援、栽培に必要な機械の導入支援を市独自の事業で実施している。

委員 昨年は里芋の出荷の際に返品（規格外）が多く、生産意欲がそがれるといった声が聞かれた。また、商品にならなかった里芋を含めた残渣の処理に手間がかかるので、そのあたりの指導が必要なのではないかと。

特別栽培は農業者同士で声かけするなどして広げていきたいと考えている。福井県など関係機関にも声掛けをお願いしたい。

委員 スマート農機の導入件数について、どのような機械を対象としているか。

事務局 ドローンや自動運転の田植機、直線アシストのトラクターなど。その他自動給水栓もスマート農機に含めている。実績に挙げているのは市を経由して補助金を交付したものとしており、農業者が国へ直接申請した件数については把握できていない。

2 議題

(1) ビジョンの改訂について

事務局より資料P 6～12について説明。

- ・ 国、県の動向
- ・ 市の今後の動き、国の基本計画の項目ごとの市内での取り組み
- ・ 改訂に向けたスケジュール

【質疑】

委員 米価の動向によって国の政策も変わることが考えられる。ビジョンに記載すべき内容の方向性も変わってくるのでは。

事務局 米価の情勢は検討しなければならないものであるが、その対応について全てビジョンに記載することは難しいかもしれない。支援の方向性など、普遍的なものについてはしっかり記載していかなければならないと思う。

委員 主食用米の価格上昇により酒米の生産をやめると言った声が出ている。酒米についてはどうなのか。

委員 コロナ時期などは酒米の不足があった。主食用米の価格が上昇し、大野市に限らず酒米の生産面積は減少している。奥越は酒米の産地でもあり、産地を守るためにも支援は必要な状況である。

委員 酒蔵や輸出などの兼ね合いもある。支援は必要だと思われるが、ビジョンに落とし込もうとすると難しいかもしれない。

委員 現状のビジョンでは規格品のみを対象としているように感じる。規格外のものについても目を向けるべきではないか。

委員 JAでは規格外品の一部を加工品として取り扱っているが、加工品として使えないものは規格外として残渣となってしまう。里芋の加工については研究中で、なるべく加工品に回せるような取組を行っている。

委員 現行のビジョンでは「儲かる農業」を目指している。市で「逸品創出事業」などで新たな加工品の開発などを支援している。規格外品についても活用できると思う。支援が足りないと感じるのであれば課題として意見を出して欲しい。

(2) アンケート内容について

【質疑】

委員 「該当するもの3つまで」となっているものがいくつもある。該当が多いものは3つに絞れないのでは。

委員 「重要なもの」としてはどうか。

委員 重要な順に順番を付けることにしてもいいかもしれない。

委員 「品種」という言葉については「品目」とした方が農業者にとってわかりやすいと思われる。また、「低農薬」も「減農薬」としたほうが農業者はなじみがあるのではないか。

農業者に対して「農業の魅力」を聞いている質問の選択肢がしっくりこない。本日、選択肢の案を事務局に提供したので参考としてみてほしい。例えば、「おいしいと思ってくれるのがうれしい」など。ここは農業にとって重要な部分だと思う。

事務局 選択肢については検討する。

委員 「食関係（大人）」のアンケートで、農業をしてみたいと答えた人については、新規就農に繋がるような形にした方が良いのでは。名前を書くのは難しいと思うが。

委員 新規就農者の窓口は重要。最後に希望者は連絡先を書くなどしてもいいかもしれない。

○副委員長あいさつ

- ・農業者が一番気になるのは米の値段。今年の新米は5キロ4千円と聞いている。販売価格が農家に還元されるべきで、流通についても考えていかなければならない。